

2015年2月23日

会誌「冷凍」2015年4月号
特集号:「機能性氷・氷スラリーの研究動向と
食品冷蔵・冷却への展開」

この機会を利用して、貴社の広告をご掲載下さい。

公益社団法人日本冷凍空調学会専属広告代理店 理工企画株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-6-12

TEL 03-3246-1261(代) FAX 03-3241-2296

営業担当 有 福

拝啓 貴社いよいよご隆盛のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

会誌「冷凍」は、冷凍、冷蔵および食品冷凍事業、低温、冷凍及および空気調和工学、ヒートポンプ、冷凍および空気調和装置製造業、一般冷凍応用事業発展のための「冷凍・冷却技術」の専門技術誌です。

是非、貴社の賛助広告をご掲載賜りたくお願い申し上げます。

敬具

特集号:「機能性氷・氷スラリーの研究動向と食品冷蔵・冷却への展開」

(敬称略)

特集にあたって

中央大学 松本浩二

1. 研究動向

1.1 氷スラリーの特徴とその生成過程での諸問題の制御

中央大学 松本浩二

1.2 アイススラリーの熱物性

信州大学 浅岡龍徳

1.3 アイススラリーの流動と熱伝達特性

青山学院大学 熊野寛之

1.4 高濃度マイクロバブルによるオゾン氷の生成

金沢大学 寺岡喜和

1.5 冷凍食品の氷水解凍 東京海洋大学 渡辺 学

2. 応用展開

2.1 産業利用における氷スラリーシステムの可能性

株式会社 NATOMICS 関 光雄

2.2 水産物におけるスラリーアイスの利用と展望

海洋水産システム協会 岡野利之

2.3 スラリーアスの漁船への適用事例

日新興業株式会社 宇野光世

2.4 乳牛牛舎用氷蓄熱ヒートポンプ給湯システムについて

北海道立総合研究機構 平野繁樹

2.5 食品冷蔵倉庫のための0℃空調への適用事例

株式会社東洋製作所 二宮 達

「冷 凍」 2015年4月号：広告掲載申込書

特集号：「機能性氷・氷スラリーの研究動向と食品冷蔵・冷却への展開」

(HP用)

(A) 普通頁 ・ A4判 ・ 1 頁 ・ (@87,000.-) 掲載申込 []

(B) 普通頁 ・ A4判 ・ 1/2 頁 ・ (@50,000.-) 掲載申込 []

消費税は別途加算されます。

(1) 広告掲載原稿は(CD)で納入します。 []

(2) 広告掲載原稿を、メールで送信します。 []

* 送信先メールアドレス: data@rikoh-kikaku.co.jp

* 出カゲラ(刷り見本)をFAXしてください。(FAX 03-3241-2296)

(3) 広告は掲載しません。 []

(4) 見本誌を希望。 []

上記、該当の[]に、○印を、ご記入下さい。

● 本文・広告面は再生紙を使用しています。

● 広告申込締切日：2015年3月13日(金)

● 広告原稿締切日：2015年3月20日(金)

(貴社名)

(ご担当名)

(TEL)

(FAX)

(E-mail)

広告詳細と製作データ

- 発行所 : 公益社団法人日本冷凍空調学会
 - 誌名 : 「冷 凍」 2015年4月号
 - 発行日 : 2015年 4月16日 (木)
 - 広告申込締切日 : 2015年 3月13日 (金)
 - 原稿締切日 : 2015年 3月20日 (金)
 - 線数 : 1 色 : 133線 膜面下
 - 広告寸法 : A4判 左開き
 - : 1 頁 : 天地260mm×左右180mm
 - : 1/2 頁 : 天地125mm×左右180mm
 - 広告掲載料金 : 1 頁 1 色 ¥ 87,000. -
 - : 1/2 頁 1 色 ¥ 50,000. -
- 消費税は別途加算されます。

●本文・広告面は再生紙を使用しています。

●原稿製作について、及び原稿送付先

★Windows 版で、データを入稿して下さい。★

*ご希望により見積書を提出いたします。

*ポジフィルム原稿製作費は含まれておりません。

(pdfより1色用ポジフィルム製作費が概算3,500.-掛かります。)

(pdfより2色用ポジフィルム製作費が概算7,000.-掛かります。)

*メールでの送信先は: data@rikoh-kikaku.co.jp

①メールでのデータの容量は5MB未満に抑えてください。

②CD納入。

*出カゲラ (刷り見本) をFAXしてください。(FAX 03-3241-2296)

*メール及びデータ入稿の場合は、ポジフィルム製作費が別途かかります。

●申込みおよび詳細問合せ先●

理 工 企 画 株 式 会 社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-6-12

TEL 03-3246-1261 (代) FAX 03-3241-2296

E-mail : data@rikoh-kikaku.co.jp

URL <http://www.rikoh-kikaku.co.jp/>

広告募集担当 有 福

公益社団法人日本冷凍空調学会とは

公益社団法人 日本冷凍空調学会は、大正14年に日本冷凍協会として、冷凍・冷蔵に関連する学術技術の発展と普及とを目的として設立以来、わが国の冷凍分野における唯一の公益法人として80年におよぶ歴史を歩んでおります。また、その目的を達成させるべく

1) 調査、研究、指導、業績の表彰及び資格の認定

2) 講演会、懇談会、講習会、見学会などの開催

3) 会誌および刊行物の発行

1. 国際冷凍協会との連絡

2. 通信教育の実施

など幅広い事業を展開しており、冷凍・空調機械技術と、食品、エネルギー、環境問題などの周辺技術に関する振興を目指して活動しております。

日本冷凍空調学会のあゆみ

- 1925年(大正14年) 日本冷凍協会設立認可
- 1930年(昭和5年) 社団法人認可(農林省水産庁)
- 1937年(昭和12年) 国際冷凍協会(IIR)日本研究委員会発足(日本側窓口となる)
- 1956年(昭和31年) 冷凍技術士制度発足
(昭和32年に冷凍技士、昭和37年に冷凍空調技士と改め)
- 1962年(昭和37年) 月刊”冷凍空調技術”創刊(1984年”冷凍”と合併し廃刊)
- 1966年(昭和41年) 食品冷凍技士制度発足
- 1972年(昭和47年) 第1回学術講演会開催
- 1973年(昭和48年) 日本冷凍協会賞制度発足(1974年第1回学術賞表彰実施)
- 1978年(昭和53年) ASHRAEの International Associate(国際友好団体)に加入
- 1980年(昭和55年) 日本冷凍協会(第1回技術賞)表彰実施
- 1984年(昭和59年) ”日本冷凍協会論文集”創刊
- 1990年(平成2年) 通信教育「初級冷凍空調講座」開講
- 1997年(平成9年) 社団法人 日本冷凍空調学会と名称変更

2005年(平成17年)	韓国大韓設備工学会(SAREK)と協定を結ぶ
2006年(平成18年)	アジア学術賞(AAA)表彰開始
2011年(平成23年)	2011年3月22日内閣総理大臣の公益認定を受けて、平成23年4月1日より公益社団法人 日本冷凍空調学会として再出発する

会員の特典

学会誌「冷凍」を毎月お届けします。

学会誌「冷凍」: 冷凍・空調機械技術と、食品、エネルギー、環境など周辺技術に関する最新情報を満載した月刊誌

過去に発行された「学会誌」や「論文集」が掲載された「会員専用のホームページ」が閲覧できます

本学会発行図書が「会員価格」で購入できます。

学会が企画した見学会、シンポジウム、講習会など各種イベントに「会員価格」で参加できます。

個人会員は年次大会に「会員価格で」参加できます。

学会内の蔵書(関係団体及び海外の雑誌、書籍)が閲覧できます。
(※学会の会議室の使用状況を事前に確認下さい。会議中は使用できません。)

資格認定

技術者の養成および技術者の企業内外での評価アップのため、以下の資格認定を行っています。

冷凍空調技士	冷凍空調関係の設計・施工業務に携わる方に与えられる資格です。さらに下記の認定技術取得要件にもなっています。
	●冷凍空調工事保安管理者 ●冷媒回収技術者
食品冷凍技士	食品の低温による加工・処理・品質保全の技術に携わる有能な技術者に与えられる資格です。

冷凍技士について < 冷凍空調技士 > ・ < 食品冷凍技士 >

当学会の認定資格の「**冷凍空調技士(一種・二種)**」は、冷凍・空調設備の設計、製作、施工に従事する優秀な技術者に与えられる資格で、50年以上の長い歴史をもち、既に3千名余の技術者が冷凍空調分野で活躍しています。
また、高圧ガス保安協会が行う保安確認講習を経て、[冷凍空調工事保安管理者](#)の資格要件と

しても認定されています。(冷凍空調技士一種と二種で認定区分が異なりますのでご注意ください)

「食品冷凍技士」は食品の低温による加工、品質保全に携わる技術者を対象とした40年以上の歴史をもつ資格制度ですが、単に処理加工のみではなく、食品冷凍技術を開発、応用する研究者、製造工程に携わるエンジニア、流通過程の品質管理、検査に従事する優秀な技術者に与えられる資格です。